

外国船を見張った藩士たち

天保13年(1842)8月、忍藩は幕府から房総半島沿岸警備を命じられ、藩士を現地に派遣しました。警備の拠点となったのは富津(千葉県富津市)と竹ヶ岡(同)の陣屋で、ここから沿岸の備場(砲台)や遠見番所(見張り小屋)に家臣が出向いていきました。

写真の絵図は白子村(南房総市)の遠見番所を描いたものです。海を見下ろす高台に見張り小屋があり、その下にある番所に馬廻2人、足軽2人、中間1人が詰めていました。天保14年6月に白子に派遣された馬廻役の奥平百助が作成した勤務の予定表によれば馬廻役は二人一組で半月交代となっていました。

房総半島に派遣された藩士は一年詰と七年詰があり、一年詰は単身赴任、七年詰は家族も同伴できました。遠見番所は単身赴任ですが、外国船を見張るといってもそう



房州朝夷郡白子村遠見所図

来航するものでもなく、むしろ外国船を見ることなく任務を終えた藩士がほとんどだったでしょう。海から遠い行田から着任して、新鮮な魚が食べられる場所での暮らしますが、奥平百助は「毎回魚を食わせられて飽きた」と記しています。また、百助は赴任中に房総半島最南端にある野島弁財天にお参りしました。百助より先に白子に派遣された世川作之丞の妻りうは、知人からこのことを聞いて「あなたは次にいつ白子へ行くのですか。その時はあなたもお参りするのでしょうか。その時はあなたも手紙の中に書いています。夫や家族の平穩無事を祈ってほしかったのでしょうか。」

忍藩が外国船と最初に應對したのは弘化2年(1845)2月に、アメリカの捕鯨船マンハタン号が漂流民22人を連れて来航した時です。この時は浦賀奉行所の支援のもと、船を浦賀まで回航させることができました。しかし、翌年にはアメリカの軍艦が来航し、嘉永6年(1853)にはペリーが来航するなど、幕末の動乱に直面していくこととなります。

(郷土博物館 鈴木紀三雄)

はじめまして



令和4年2月生まれのお子さんを募集します

- 12月1日(木)~28日(水)に電話またはEメールで広報広聴課(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、令和5年1月5日(木)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



令和3年12月生まれのおともだち



齋藤 汐莉ちゃん(栄町)
令和3年12月14日生まれ
父・雅さん 母・和代さん
「ありがとー！大好きだよ♡
これからよろしく(笑)」



石川 ひまりちゃん(門井町)
令和3年12月26日生まれ
父・友視さん 母・かおるさん
「ひまひまー！
おつきなくれ☆」



柳川 心柚ちゃん(桜町)
令和3年12月12日生まれ
父・皓平さん 母・日花里さん
「癒し担当おてんば娘♡
元気に大きくなってね！」



大屋 依恋ちゃん(宮本)
令和3年12月11日生まれ
父・貴史さん 母・佳美さん
「可愛い笑顔が
大好きだよ♡」



中里 柊哉ちゃん(藤原町)
令和3年12月27日生まれ
父・祐太さん 母・瑞穂さん
「元気100倍！
自分らしさを大切にしていね♪」



野中 柊希ちゃん(埼玉)
令和3年12月5日生まれ
父・敏弥さん 母・玲華さん
「みんなの愛情を沢山もらって
大きくなあれ！」

編集・発行／行田市総合政策部広報広聴課
〒361-1860 行田市本丸2番5号
TEL 556-1111 FAX 550-2116

今月の表紙 市内における刑法犯罪認知件数は年々減少傾向にあるものの、自転車などの盗難事案は増加傾向にあります。行田警察署のデータ(10月末時点)によると、盗難された自転車の64パーセントは無施錠でした。盗難被害に遭わないために、一人一人が防犯を意識し、施錠などを徹底しましょう。

